


表彰区分	マロニエ建築賞	
作品名	Burano Oyama 医療的ケアが必要な子供たちと家族の欲張り拠点	
所在地	小山市間々田 586-2	
用途	社会福祉施設（障害児通所支援施設）	
建物概要	構造：W造	敷地面積：1677.31 m ²
	階数：地上2階	延べ面積：391.12 m ²
建築主	茨城県古河市小堤 1881-13 一般社団法人 Burano	
設計者	茨城県結城市結城 183 NIDO 一級建築士事務所	
施工者	茨城県結城市中央町 1-17-1 株式会社 石島建設	
講評	<p>住宅地の際に位置し田園に向けて開けたところに建つ、医療的ケアが必要な子供たちのための通所施設である。敷地の選択から、建物のレイアウト、内部空間の構成、内部と外部の関係、中間領域の設定、外構計画、温熱環境などに至るまで、すべてが子供たちへのケアや家族へのサポートの視点から検討され、丁寧に計画されている施設になっている。土地を探し、所有者と交渉するところから始めて取得したという敷地は、街とのつながり感と穏やかな静けさが両立している。外観においても、道路から見ると、様々な表情を持つ仕上げを採用した外壁が緑に埋もれさりげなく佇んでいて、地域のスケールから突出することなく、景観を先導的に形成し、地域コミュニティのよきパートナーとしてともに生きていこうとしていることが見て取れる。</p> <p>総じて、何かに突出しているわけではないが、施設として閉じてしまうのではなく、利用者が地域の中でつながっていくための居場所として、隅々までバランスよく配慮された施設として高く評価された。</p>	
	 <p>©classic Photo Works.</p>	